

ファスタープッシーキャット キル！キル！（1966）

FASTER PUSSYCAT KILL! KILL!
THE LEATHER GIRLS
THE MANKILLERS

メディア 映画
ジャンル モンド エロティック
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 83分
初公開日 1995/04/01
公開情報 シネマキャッツ
リバイバル 1995/04 [フィクション・インク]

【解説】

“もしかすると、これから作られるであろうどんな映画よりも良いかも”と監督ジョン・ウォーターズに言わせしめた作品。R・メイヤーより先に大蔵貢という偉大なエログロ趣味人を映画界に擁した日本男児としちゃ、これくらいの単スケに驚いていらんねえよ（と、強がって見せる）。しかし、一部洋ピンマニア、特殊エロ本関係者のモーゼ的存在だった彼の映画が堂々アートシアターでロードショー公開され、半数近いオシャレ系女性観客を集めている、この国の現実って……。 “あのオッパイが最高にキュート。ラスさんって女性が判ってるなってカンジ”なんて感想メモ平気で残してくギャル様たち。お前らに、この巨乳は渡せねえーとその趣味がなくとも思わず叫んでしまいます。冷静な評価に戻ると、この作品、意外にまっとうな部分と確かに芸術？に踏み込むほどシュールな箇所、それに誰がなんと言おうとお下劣な残りの部分が一筋縄でいかぬ混濁ぶりを見せ、やっぱただのサイテー映画とは違う。マトモなのはその組み立てやカットの冴え、それと後半の物語性（少し退屈）で、ぶっ飛んでるのは開幕のナレーションの画面がサウンドトラックの波形であることやブニュエルの唐突な暴力、主演の化け物女T・サターナの存在自体などなど。そのサターナ演じるゴー・ゴー・ガールのヴァーラは、ロージー（ハジ）、ビリー（ウィリアムズ）と三人でドライブ途中、出会ったトミーとレースをして勝ち、更なる挑発に向かってきた彼の首の骨を折って殺し、連れのリリータ少女（でもDカップ）を誘拐、ある事故の保証金成金となって砂漠の農場に大金を隠し持っている老人の噂を聞いてそこへ乗り込む。二人の息子のうち一人は明らかに精神異常のマッチョで、秘密厳守を誓わされた少女は恐怖におののくが……。見たらしばらくうなされるのは覚悟。真のビザールとは苦痛を伴うものだ。

【クレジット】

監督	ラス・メイヤー	Russ Meyer
製作	イヴ・メイヤー	Eve Meyer
	ラス・メイヤー	Russ Meyer
脚本	ジャック・モラン	Jacques Moran
撮影	ウォルター・シェンク	Walter Schenk
音楽	イゴ・カンター	Igo Kantor
	ポール・ソーテル	Paul Sawtell
	バート・シェフター	Bert Shefter
出演	トゥラ・サターナ	Tura Satana
	ハジ	Haji
	ロリ・ウィリアムズ	Lori Williams
	レイ・バーロウ	Ray Barlow

スー・バーナード	Sue Bernard
デニス・ブッシュ	Dennis Busch
ミッキー・フォックス	Mickey Fox
ジョン・ファーロング	John Furlong
スチュアート・ランカスター	Stuart Lancaster
ポール・トリンカ	Paul Trink